

平成26年度全国及び岡山県学力・学習状況調査 結果と今後の取組について【学校版】

津山市立加茂中学校

<p>教育目標(めざす児童生徒像)</p>	<p>今年度の指導の重点</p>									
<p>教育目標 「心豊かで主体的に学びたくましく生きる生徒の育成」                  目指す生徒像 明るくあいさつができる生徒                  ・けじめをつけ自立できる生徒                  ・自他共に人権を大切にし思いやりのある生徒                  ・自分の課題を知りその解決へ向けて努力できる生徒                  ・感謝の気持ちをもち社会に奉仕できる生徒</p>	<p>教師と生徒の人間的なふれあいを深め、信頼感に基づいた実践により、基礎学力の充実を図ると共に、個性を生かし、人間性豊かな生徒を育成する。</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td>1 学習指導の充実</td> <td>4 人権教育の充実</td> <td>7 特別支援教育の充実</td> </tr> <tr> <td>2 生徒指導の充実</td> <td>5 道徳教育の充実</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 キャリア教育の充実</td> <td>6 生徒会活動の充実</td> <td></td> </tr> </table>	1 学習指導の充実	4 人権教育の充実	7 特別支援教育の充実	2 生徒指導の充実	5 道徳教育の充実		3 キャリア教育の充実	6 生徒会活動の充実	
1 学習指導の充実	4 人権教育の充実	7 特別支援教育の充実								
2 生徒指導の充実	5 道徳教育の充実									
3 キャリア教育の充実	6 生徒会活動の充実									

調査結果について(調査結果において明らかになったこと)	
<p>【学力状況調査の結果】</p> <p>全国</p> <p>国語A、数学A、数学Bについては県平均と同程度であったが、国語Bは低かった。                  国語Aについては概念を表す語句、文章の関係や互いの発言を検討する力が低く課題がある。漢字の読み書きは高い。                  漢字を書く(円のハケを求めると)本校68.8% 県55.9% 報告の内容をふまえた質問として適切なものを選択する 本校62.5% 県79.5%                  国語Bについては表現の工夫、内容の読み取りや説明については低い、言語についての知識理解は高い。                  殿様の言葉が表す殿様の姿として適切な姿を選択する 本校81.3% 県63.9% 表現の技法の選択 本校31.3% 県62.4%                  数学Aは数と式など計算の基礎は定着しているが、関数や図形の性質や資料の整理の正解率が低かった。                  一元一次方程式<math>(x-1)/3=2</math>を解くことができる 本校68.8% 県57.2% 反比例のグラフから表を選ぶことができる 本校25.0% 県48.1%                  数学Bでは数量や図形についての知識理解は高かったが、記述や理論を応える問題の正答率が低い。                  2つの数量の間の関係を説明することができる 本校65.6% 県54.5%                  2つの偶数の商についての正しい記述を選び、その理由を説明する 本校34.4% 県39.2%                  全体的に基礎基本については良くなってきている。                  知識の活用特に、読み取り・説明・証明問題の正答率が低い。</p> <p>県</p> <p>4教科共に県平均を下回った。全体的に基礎、学力の底上げが必要である。                  国語は語句についての知識や漢字の読みは高いが、書く能力や読み取りが低い。                  社会は事象についての知識理解や地理的領域は高かったが、歴史・公民分野や、社会的な思考判断が低い。                  算数は四則計算や図形の知識理解が高かったが、グラフの利用や文章問題の数学的な考え方の正答率が低い。                  理科では物理・生物・天体の知識理解が高いが、実験や観察での思考・表現、既習内容の活用力が低い。                  全体的に知識・思考・判断が低かった。                  学習内容をどのような場面で活用する能力はついてきているが、それをさらに別の場面で応用する力が低かった。</p>	<p>【学習状況調査の結果】</p> <p>自尊心が高まってきている。                  規範意識が高まっている。(学校の規則を守る。)                  基本的な生活習慣(朝食・睡眠・あいさつ等)は良い。                  学校が楽しい、友だちと合うのが楽しいと答えている生徒が多い。                  学校での学習では話し合い活動ができていると感じる生徒が多い。                  人の気持ちが分かる、人に役立ちたい生徒が多い。                  学級のみんで協力して何かをやり遂げ、嬉しかったことがある生徒の状況が非常に高い。</p> <p>自分考えや意見を人前で発表することが苦手である。                  DVDやテレビゲームの時間は1時間から2時間が多いが、スマホに関してはかなり長時間の生徒が多く見られる。                  読書の好きな生徒、新聞を読むと答えた生徒をさらに増やすことが必要である。                  土曜日・日曜日の学習の時間が少ない。                  学習習慣(家庭学習・予習・復習)はまだまだ低い。                  1年生については、生活習慣(早寝・早起き・朝ご飯)の状況が低い。</p>

<p>成果と課題</p>	<p>課題に対応した改善方法</p>
<p>学習面では、基礎基本についてはおおむね定着しているが、活用力(判断)や応用力(思考)を高める必要がある。                  自己肯定感や規範意識がさらに高くなった。                  人間関係や学校生活について良い印象を持っている。                  素直でまじめな生徒が多く、基本的な生活習慣が定着してきている。                  生徒の学校生活の充実感や授業規律ができている。                  読み取る力や説明力を高める必要がある。                  成功体験での達成感や自己肯定感が高めることができた。                  家庭学習(特に予習・復習)ができるよう工夫がさらに必要である。                  記述問題や証明問題を高める必要がある。</p>	<p>グループ・ペア・班活動、ホワイトボードやICTを利用して、表現力や説明力を高める。(1単位の中に極力場面を設定する)                  基礎基本の充実をさらに図る。(前時の想起・復習、プリント、小テスト、を授業の中に取り入れる。)                  岡山県学習スタンダードを基本にした授業作りを行っていく。                  授業での「本時の目標」「授業の流れ」を提示し、「振り返り」の活動をさせる。                  放課後の補習学習を計画的に行っていく(3年生)                  小中連携(魅力ある授業作り)を学校間で取り組んだり、家庭学習など過程との連携をとっていく。                  到達度テストを利用し、学習内容の定着度を測るようになる。                  ボランティア活動や学校行事や地域行事を通して達成感や自己肯定感をさらに高めていく。                  学校全体で授業規律の徹底をはかっていく。                  テストやプリント等での間違直しや振り返りを行っていく。</p>

<p>取組の検証方法及び検証時期</p>	<p>達成目標(数値目標)</p>
<p>基礎基本の充実・・・チャレンジテストでの反復練習(1学期国語、2学期英語、3学期数学)                  授業振り返りシートの活用(単元ごと・毎学期)                  朝学習での基礎基本の小プリントでのポイント学習(毎時間)                  校内研修での授業改革の見直しや、評価のあり方についての研究(各学期)                  学力定着状況確かめテスト(2年生、2学期・3学期)                  到達度テストの活用(学期または単元)                  学習状況調査「生徒質問紙」を利用したアンケートの実施で変化の状況を把握する。(各学期)</p>	<p>全国学力状況調査では全国平均と同レベルまで引き上げる。                  家庭学習のあり方の検証と時間が1時間以上の生徒の割合を60%以上に増やす。                  国・英・数チャレンジテストの点数が80点以上の生徒を90%以上になるようにする。                  生活アンケートでは現時点より平均5ポイント高められるようにしていく。</p>